

令和5年度 食のまちづくり推進活動補助金 採択事業一覧

No.	事業名	事業主体	事業目的	事業内容	採択金額
1	ハッピーワールドプロジェクト	自給自然農🌱命の源 (土と菌と食)	自分で健康な食物を作り、食すことで生きるパワーを身につける人たちを増やす。	一般参加者を募り、野菜と稲の育苗、田畑の整備～収穫までを行う農作業体験、季節ごとに旬の野菜と魚を使った料理教室、月1回の野草の天ぷら教室開催。 オーガニックイベントへの参加も目指す。	121,500円
2	地産地消	ボンジュール彦岳	食育を通して、シェフ等の力をかりながら、料理教室を通し、食のマナー、その他五感を見につけながら、地域の多くの方々と交流を深め、食の祭典も実現したい。	年6回程度の調理実習を通して、シェフ等に食に対するマナーを学ぶとともに「食選力」「調理力」の充実を図る。 高校生、他地域の料理教室とのコラボや豊かな「食」と「健康」につながるパワーを広めていくための食の祭典を開催する。	135,000円
3	しろやまっ子が広める食のまちづくり！みんなで作るうさいきの輪	しろやま共同保育園	子どもたちに体験の中で食育を深めてもらう。 地域の方にも協力いただくことで地域との繋がりを創ることもつながる。	10年以上にわたって取り組んできた食育活動（ひじきの収穫、ひじきふりかけづくり、菌ちゃん野菜づくり、味噌づくり等）を一步進め、地域の企業や生産者の方と連携した取組に重点を置く。 保護者、一般参加者も募集するワークショップの開催やイベント参加を通して取組を地域に発信していく。	90,000円
4	健康と豊かな食生活を実現するための食育活動	愛・むーす	高齢者～子ども達が一緒に佐伯の食材を使つての料理を楽しむ。	子どもから高齢者まで幅広い世代が集まり、佐伯市の食材を使用したみそ玉作りセミナーやみそを使った料理教室の実施、発酵食品を学ぶ勉強会の開催に取り組む。	75,000円
5	地松浦公民館食育推進事業～食育活動で地域を元気に～	地松浦公民館	体を育むうえで欠かせない食、心を整えるうえで欠かせない笑顔、食で楽しむうえで欠かせない口、そして食と防災はどちらも日頃からの備えや習慣が必要です。今回の地松浦地域の食育事業を実施することで、食育の知識や大切さ、楽しさを多くの地域の人に伝えていきます。また、『さいきオーガニック憲章』に繋がる事業を展開していきます。	多くの人たちに食育の知識と大切さ、楽しさを伝えていくために食育講演を3テーマで実施。 料理教室では、日頃体験できないそば打ち体験や現在は閉店しているが地元で大人気だったお店の料理を家庭で作れるよう伝授していく。 地松浦地域を元気にするため、チラシ、ポスター、SNS、マスクミ等を活用しながら、たくさんの人に食育事業の取組をPRする。	150,000円

令和5年度 食のまちづくり推進活動補助金 採択事業一覧

No.	事業名	事業主体	事業目的	事業内容	採択金額
6	食で鶴見盛り上げたい	海音の会	地元には伝わる食文化の継承と地元食材の活用。	親や祖母たちが作ってきた郷土料理を学ぶ。昨年も好評だった味噌づくり、参加者からの要望が多いすり身作り等を実施予定。 沢山の人に参加してもらうことにより、新たにコミュニティーセンターとなった公民館に賑わいを作り、鶴見を盛り上げていく。	120,000円
7	発酵美人になろう	WC☆ホップステップジャンプ	体に良いと言われる発酵食について学び、発酵という面から食の知識を深め、心と体の健康に役立てる。また、佐伯産やオーガニックの食材を使用した発酵食作りを通して、地産地消やオーガニック食品の推進につなげる。	佐伯で活躍する食のプロを講師に招き、発酵をテーマにした学習会や料理教室を開催。この事業を通して学んだ内容は、オリジナルの発酵書として1冊にまとめ、図書館への寄贈も検討している。	150,000円
8	「さ・し・す・せ・そ」からつくってみよう!	弥生母親クラブ ワイワイサークル	添加物の入っていない調味料を自分たちで作る、食の安全について考える。	食育活動を行う中で「調味料は食材と同じくらい重要なもの」だと気づいたことから、日頃よく使う調味料の中でも個人で作るにはハードルが高い「あまざけ」「しょうゆ」「みそ」を講師に習って「私たちの調味料」として仕込む。 仕込んだ調味料に加え、佐伯の塩やカボスなどの特産品を使った料理教室も実施する。	121,500円
9	食で繋ぐ We Love SAIKIプロジェクトⅡ	大分県立佐伯豊南高等学校	佐伯の食の魅力を再発見! 高校生の力で佐伯のチカラをUP! 食で繋ぐ佐伯愛!	地元企業、まちづくり会社などと連携・協働し、地元の特産品を活かした商品開発を行う。佐伯市内でのイベントを中心に販売を目指すとともに、商品を魅力的に見せるスキルの向上の研究を進める。 また、SDGsや地産地消などを意識した学習・ワークショップにも取り組む。	135,000円
10	こどもたちの未来の食を守るため、今私たちにできること	薫織農園	安心安全な野菜を学校給食に提供できるよう、今現在行っている農法だけではなく様々な農法で栽培された野菜を直接食べ、見て研究し、より良い野菜作りを実践する。それに加え、オーガニック野菜の供給量増加に繋げて行く。またオリジナルロゴのチラシやシール等を作成し、独自認証制度さいきの恵みともかけあわせていき、オーガニックシティさいきを周知、定着する間口を広げていきたい。	より良い野菜づくり実践に向けて調査・研究を行う。 美味しいと感じた農業者の畑を見学、自分たちの野菜づくりに活かせるポイントを学び実践する。 安心安全な野菜作りを目指して、土壌検査を行う。 また、チラシやシール等の作成により、オーガニックシティや「さいきの恵み」の啓発に取り組む。	95,000円

令和5年度 食のまちづくり推進活動補助金 採択事業一覧

No.	事業名	事業主体	事業目的	事業内容	採択金額
11	オーガニックで野菜を作ろう	ハッピーリンク	1人でも多くの方にオーガニックの食の事を知ってもらおう。	数年間使っていない畑を耕し、有機農業者に指導いただきながらオーガニックでの野菜栽培に取り組む。 大豆を植え、味噌作りに取り組む。	121,500円
12	半農半Xの推進とこれからの食農	ジロー米作り道場	半農半Xの成果実績を多くの方に知ってもらい、普及活動を行う。全国の農家さんの声や想いを知ること、食に対しての感謝の心を養う。	有機米作り体験：6月の田植えと10月の稲刈り、はぎ掛けの体験実施。 自主上映会：半農半X希望者や家族、親子などを対象に『百姓の百の声』の上映会を11月に実施する。鑑賞後は、座談会と米作り道場が収穫したお米を使い、おむすびワークショップを開催する。	85,500円

※申し込み順

審査員

1	河野 辰也	佐伯市食育推進会議 会長
2	三浦 真実	食育コーディネーター兼食と農のさいきオーガニック推進協議会 副会長
3	古田 智	佐伯市観光ブランド推進部 部長